

**第4回は、『平岸のまちづくり指針(案)』  
の内容について話し合いました！**

札幌市では、「地域交流拠点(主要な地下鉄駅周辺等)」のまちづくりを進めるため、平岸地区の方々ともちづくりの指針づくりに向けたワークショップを開催しています。  
平成30年8月7日(火)に第4回目の『平岸の未来づくりワークショップ』を開催し、「平岸のまちづくり指針(案)」について、活発に話し合いました。(裏面参照)



**第4回「平岸の未来づくりワークショップ」の参加者募集！**

- 1 平岸地区のいま、今後について話し合う (終了)  
平成29年9月29日(金)
- 2 まち歩きをして色々な事例を知る、体感する (終了)  
平成29年10月31日(火)
- 3 将来の平岸地区に必要な取組について話し合う (終了)  
平成30年1月19日(金)
- 4 平岸まちづくり指針の内容について話し合う (終了)  
平成30年8月7日(火)
- 5 平岸まちづくり指針(案)の内容を確認、共有する  
平成30年12月25日
- 6 平岸まちづくり指針の実現方法を考える  
平成31年2月下旬～3月上旬

裏面に結果を掲載

第5回目予定内容

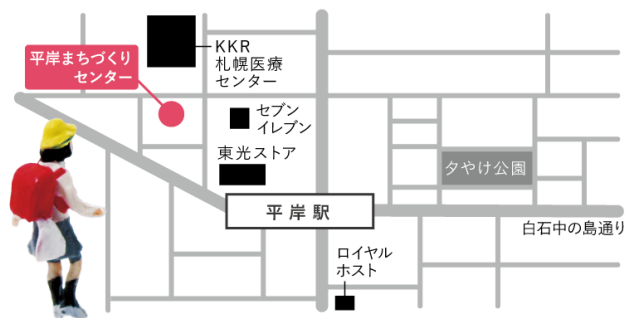
- 1 これまで行ったワークショップの結果を振り返り、住民アンケート調査の結果を共有します。
- 2 上記の結果を反映して作成した平岸まちづくり指針(案)の内容について、みんなで意見交換します。
- 3 平岸まちづくり指針(案)に基づいて、地域の人々が取り組むことのできるまちづくり活動について、みんなで意見交換します。

はじめての方も歓迎！



2018年 **12月25日** 参加無料  
13時30分～15時30分

定員：30名 場所：平岸まちづくりセンター  
札幌市豊平区平岸2条7丁目2-5



お問合せ 日本データサービス(株)企画部  
TEL:011-780-1121 FAX:011-780-1118 (担当 白田、藤井)  
札幌市まちづくり政策局都市計画部 地域計画課  
TEL:011-211-2545 FAX:011-218-5113 (担当 太田、岡田)

**申し込み方法**

当日の急な参加も歓迎です

以下のいずれかの方法でお申し込みください。FAXの方は下記の申し込み欄に記入、その他の方はFAX申し込み記入欄の事項を電話、メールにてお知らせください。

- ✉ mirai@ndsinc.co.jp
- ☎ 011-780-1118
- ☎ 011-780-1121 (受付時間：平日9時～17時)

2018年  
**12月20日**  
締切

FAX用参加申し込み記入欄

ふりがな お名前 \_\_\_\_\_

連絡先 ☎ \_\_\_\_\_

年齢(または年代) \_\_\_\_\_ 歳 または \_\_\_\_\_ 代



※どちらか1つご記入ください

記載いただいた情報はワークショップの実施にのみ活用し、情報管理を十分行います。

## （1）目指す平岸の姿

＜目指す姿の案＞ **平岸の持つ魅力や活力がまちにあふれ、  
（事務局提案） 新たなにぎわいや交流が生まれるまちづくり**

- ・平岸の持つ「魅力」や「活力」が、この言葉を見聞きしたときに伝わる必要があると思う。
- ・抽象的であるため、焦点を絞った方が良い。
- ・わかりやすくインパクトのあるキャッチフレーズと、簡単な説明文の構成が良い。など

### キーワードのアイデア

幸せ、安全、安心、  
誇り、職住一体 など

事務局で検討した案をベースに、より良い指針づくりに向けたご意見・アイデアをいただきました。



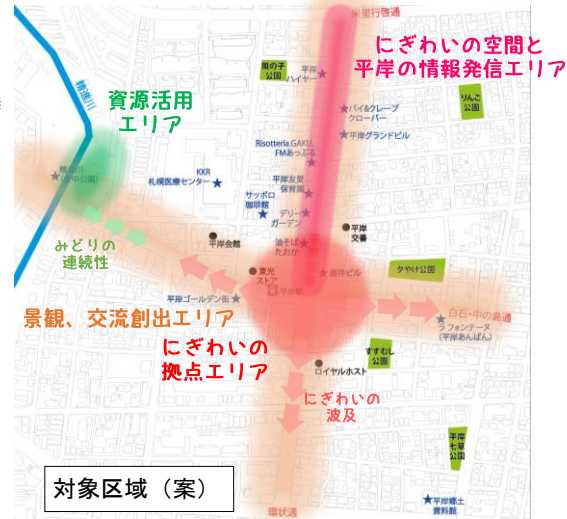
## （2）対象区域、指針の推進に向けた体制

＜対象区域（案）について＞ ※右図参照

- ・少し離れているが、北側にある大学との連携も考えてみると良いのではないかな。
- ・提案された図のとおり、「にぎわいのある場所」と「静かな場所」が分かれていたほうが暮らしやすいと思う。
- ・郊外から中心に集まる流れの考え方もあると思う。など

＜推進に向けた体制について＞

- ・継続して事業を実施するためには、収益事業を担う組織も必要である。
- ・まちづくりのプロジェクトチームを結成するのも良いと思う。
- ・まちづくり協議会が主体となるのは難しいかもしれないが、うまく協力しながら進めていくのが良いと思う。など



対象区域（案）



たくさんの意見が出たよ！  
地域の意見がたくさん詰まった指針になりそうだね。

## （3）指針の方針、まちづくりのルール・活動

方針① 商店街の活力や平岸天神の**にぎわい**が  
（案）あふれ、**歩いて楽しい**まちづくり

- ◆交流の場や休憩スペース、歩行空間のゆとりなどを創出し、にぎわいを創出するため、スペースの確保や魅力あるデザインとすることや、屋外照明を設置するなどのルールが良い。
- ◆歩けない人に配慮し、「動いて楽しい」や「移動して楽しい」等、表現を工夫してはどうか。
- ◆ベビーカーや車いすがすれ違えることができる歩行空間を確保する等、ユニバーサルデザインや安全に配慮した内容が必要。
- ◆平岸街道沿いにある建物が、少しずつ魅力的なデザインとなっていくように誘導できれば良いと思う。
- ◆学生が入りやすくおしゃれな飲食店ができると良い。など

方針② 地下鉄平岸駅を中心とした  
（案）**魅力ある沿道景観**を創出するまちづくり

- ◆周囲の建築物や街並みに配慮した建物の形態やデザインとすることや、みどり豊かな景観を創出するなどのルールが良い。
- ◆駐輪場における駐輪の乱れの抑制や安全対策として、花壇で作った緑のガードレール等を設置してはどうか。
- ◆夏期は、店舗などで屋外の客席やベンチの設置を推奨してはどうか。
- ◆マンホールや地面など、所々に平岸ならではのものを表現してはどうか（『りんご』のマーク等）。など



方針③ 地域交流拠点の**にぎわい**を活かす  
（案）魅力あるオープンスペースで、  
**たくさんの交流が生まれる**まちづくり

- ◆交流の場やイベントの場としてオープンスペースを積極的に活用すること、人々が集う場を創出すること、平岸天神（YOSAKOI）がより一層活躍できる場や機会を創出すること、精進川などの地域資源を活用した多世代交流を促進することなどは良いと思う。
- ◆イベントや出店を検討している人が、オープンスペースの利用に関する情報が入手しやすいよう、工夫が必要ではないかな。また、サポート窓口を設けるなど、取組を支援する体制づくりと、外部に向けた情報発信も必要だと思う。
- ◆学生が集まれるようなスペースがあると良い。
- ◆学生がボランティアに参加できる機会を増やす仕組みがあると良い。など

方針④ 若い世代をはじめとし、多世代の人が  
（案）**行きたくなる、住みたくなる**まちづくり

- ◆にぎわいを創出する活動、空きスペースのリノベーションなどによる若い世代の空間利用、沿道の美化活動、SNSを活用した情報発信などの活動は良いと思う。
- ◆各通りに、年代などターゲット別のお店を設け、平岸駅周辺には多世代が交流できるお店やスペースを設けてはどうか。
- ◆すすきのとの差別化を図り、平岸に人を呼び込みたい。
- ◆若い世代をターゲットとしたお店を展開してはどうか。
- ◆元気な高齢者に活躍してもらえる仕組みがあると良い。
- ◆一緒に絵を描くなど、多世代交流が展開できると良い。
- ◆美化活動を行うことで商店街の割引券がもらえるなど、まちづくりに参加したくなる工夫や仕組みづくりが必要だと思う。
- ◆ランドマークや散歩マップがあると良い。など

第5回目の開催は平成30年12月25日（火）の13：30からです。  
平岸地区の皆様、ぜひご参加ください（詳細は表面をご覧ください）。

発行・お問い合わせ先

日本データサービス（株）企画部 電話：011-780-1121（担当 藤井、白田）

札幌市まちづくり政策局都市計画部 地域計画課 電話：011-211-2545（担当 太田、岡田）



さっぽろ市  
02-B03-18-1320  
30-2-873